

児童発達支援:事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月10日

事業所名 MOMB池田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3		・利用者が多い時は狭いと感じる。 ・室内での集団活動に於いては狭いと感じる。
	2	職員の配置数は適切である	6	0		・利用者の人数に応じてもう少し人員が多い方がよい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・必要な掲示物の実装に貼ってあると感じている。ごちゃごちゃしないように気を付けている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・保護者のアンケートは確認し、業務改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		
適切な支援の提供	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・SST研修会を事業所内で行い、利用者により良いサービス提供に心がけている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1	・打合せて日々の様子を確認し合っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	・複数のアセスメントツールを導入している	・複数のアセスメントツールのうち、うまく使えていないものもあるので活用方法や活用の優先順位の習熟を図る必要がある。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	2	・ガイドラインに沿った支援内容を元に利用者に必要な支援を保護者と相談して支援計画を作成したうえで指導員は支援を実施している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1	・当日利用者の支援計画を確認して必要な支援をするよう心がけている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・集団活動を行いながらSSTを身に付けられるよう支援を実施している。プログラムはチームで相談して決めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	3	・個人的には工夫が足りていない。 ・同じ活動を続けている。利用者の現状を確認し、集団活動のあり方を再検討する必要がある。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・毎回振り返りと当日活動の打ち合わせは綿密に実施している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・指導員が見たこと、感じたことの情報共有は詳細に実施している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・長期休み前は毎週金曜日に実施していた。記録を取る事は徹底できていない。	
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・できるだけ期間内に面談を実施し、モニタリングを行っている。	更新期間が重なる時期があるため、スケジュールの設定に工夫が必要
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	3	・ほぼセルフ計画の利用者が多く、相談支援事業所の担当者会議はほぼない状態。事業所内で職員を交えて会議を行っている。	・必要に応じて、相談支援事業所だけでなく、学校機関等との連携を図る必要がある。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	4		・必要に応じて、関係機関等との連携を図る必要がある。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	4		・現在対象者がいないが、利用されることがあれば連携が必要
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	5		・現在対象者がいないが、利用されることがあれば連携が必要
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4	・少し園れていると思う。 ・保護者を通して移行支援ができていてと感じる	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4	・少し園れていると思う。		
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
との連携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	4	2		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・何かある時は常に連絡を取り対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	・令和4年12月に実施した。保護者にアンケートを実施したところ、好評であり、今後も定期的に実施して欲しいとの結果であった。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・気になる事がある場合は保護者に連絡をし、今後の事など細かく相談を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・年に2回避難訓練を実施している。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1	・服薬はお薬手帳などを参考に把握している。またてんかん等の持病に関しては保護者様より情報や対応を確認している。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・医師の指示書はないが、保護者の指示に従って対応している。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・事故・破損等が発生した場合は記録し共有している。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・定期的に研修を行っている。	・研修内容理解のチェックシート等を作成して理解度のチェックも行っていく。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・やむを得ず身体拘束を行う必要がある利用者に関しては計画書に記載し保護者に口頭でも説明を行い了解を得ている。(署名、、押印)	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援:保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名 MOMB池田

保護者等数(児童数)

回収数

2

割合

66

%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	1					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	2					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	2					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0					
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	2					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	2					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2					
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	1					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1					

供	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2					
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	2					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1					
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	2				・とても楽しみにしています。	・ありがとうございます。引き続き、お子さんが楽しんでもらえるような活動を提案していきたいと思います。
	23	事業所の支援に満足している	2				・いつもご丁寧にご対応いただきありがとうございます。	・今後も引き続き丁寧に対応していきたいと思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。